

みたじりなかのせきこうついでちく

三田尻中関港築地地区 防波堤整備事業再評価



平成17年12月6日
国土交通省中国地方整備局

1. 事業位置図

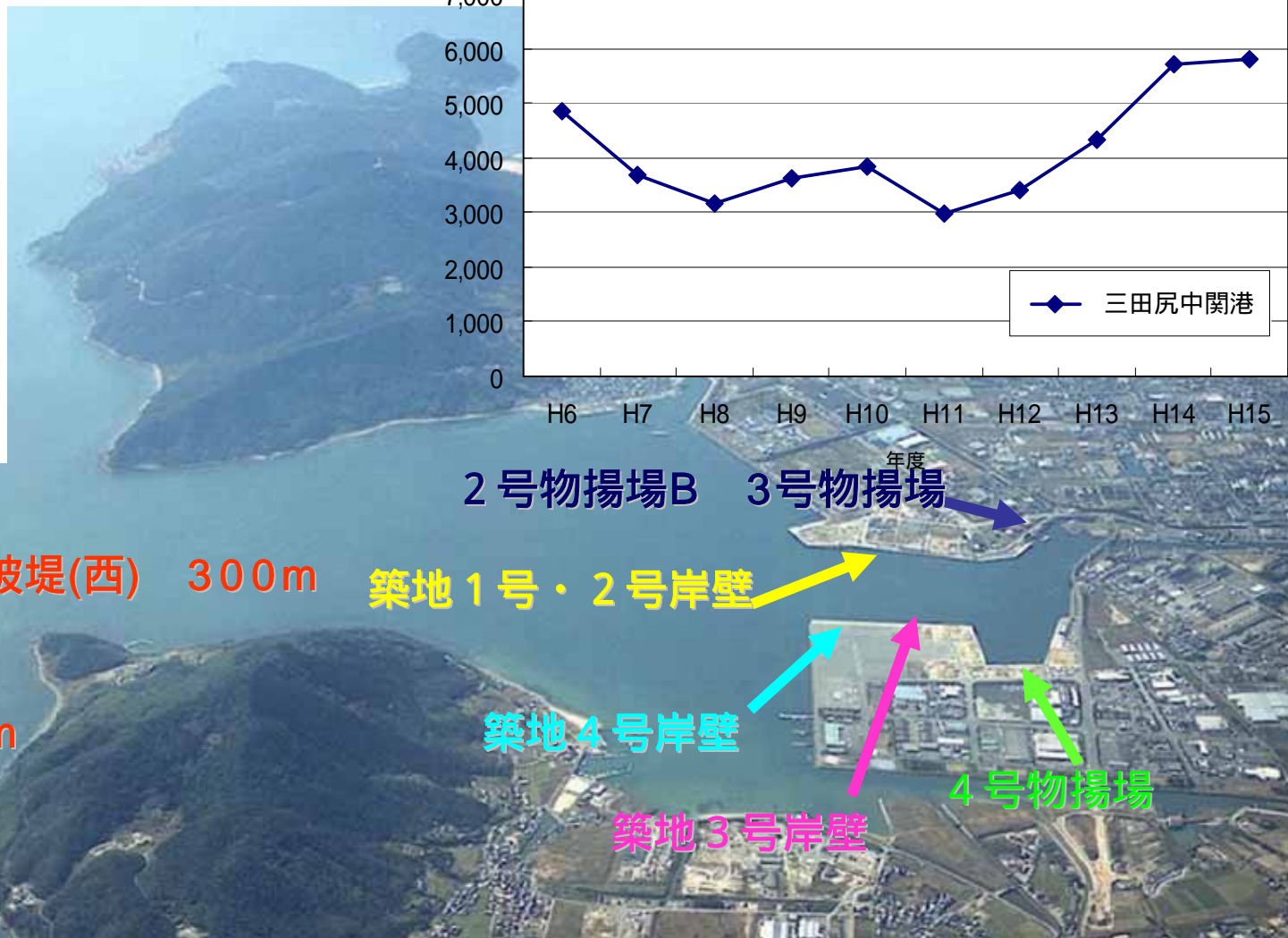


2. 三田尻中関港の概要

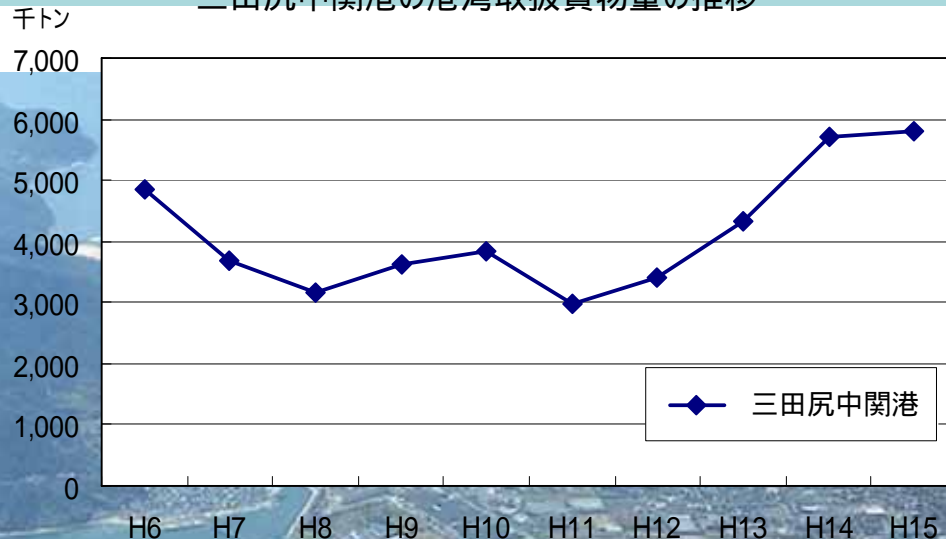
対象施設及び貨物量（平成15年度実績）

築地地区取り扱い貨物量
（平成15年度実績）

取扱貨物量（千トン）	
完成自動車	312
砂・砂利	165
化学薬品	49
重油	61
砂糖	33
木材チップ	4
コークス	19
合計	643



三田尻中関港の港湾取扱貨物量の推移



3.三田尻中関港の課題

港内静穏度不足（港内擾乱）



港内静穏度不足（台風等の波浪）

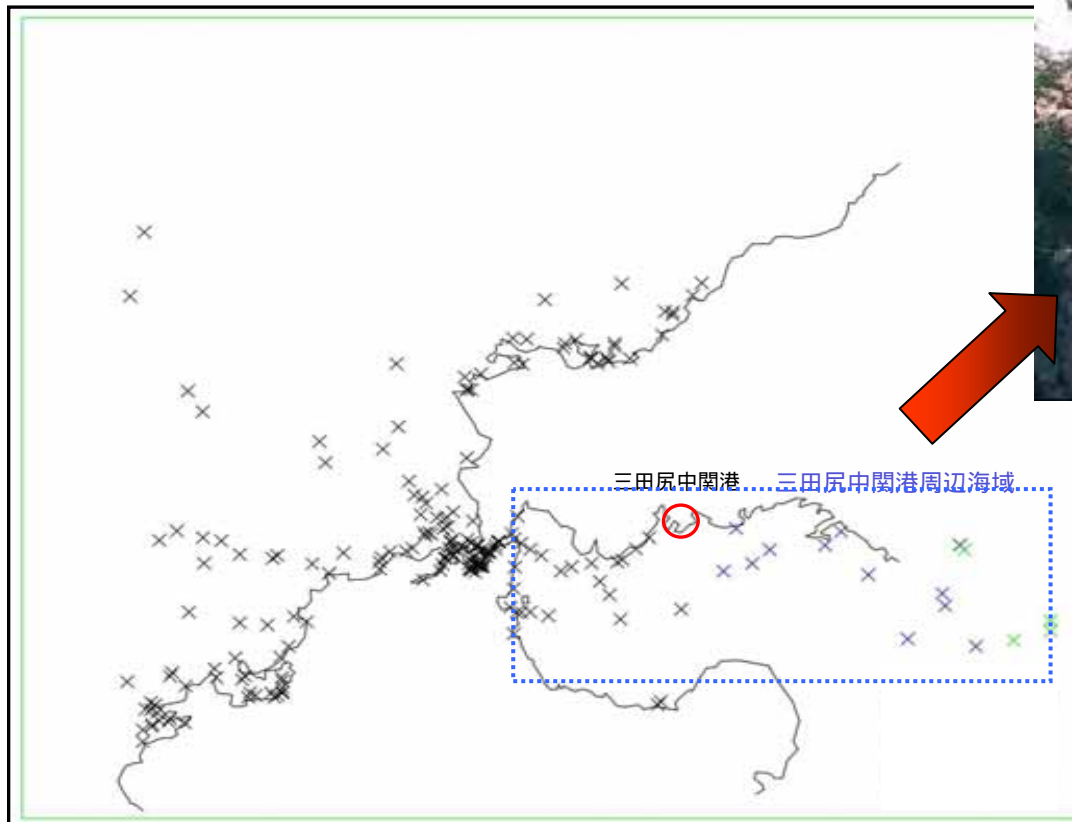
被災状況



台風18号（H16.9.7）による被災状況 被災金額 3.1億円（三田尻中関港）

三田尻中関港周辺の海難発生状況（平成16年）

平成16年に三田尻中関港周辺で発生した海難事故は、第六・第七管区内で発生した船舶海難隻数（1,039隻）のうち9.4%にあたる98隻である。このような事故が発生すると甚大な環境破壊、地域経済等に影響をもたらす。

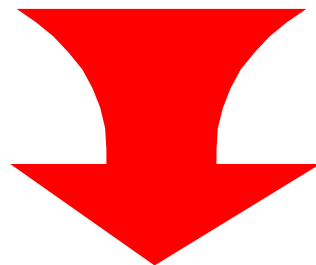


平成16年 台風18号による被害
毎日新聞HP H16.9.15 より

貨物船座礁沈没 死亡者22名

4. 事業の目的

三田尻中関港築地地区の、入出港の安全性の向上、
施設の防護、船舶の安全確保を図るためには？



『防波堤の整備が必要！』

施設概要	中心施設
	防波堤

5. 事業の効果

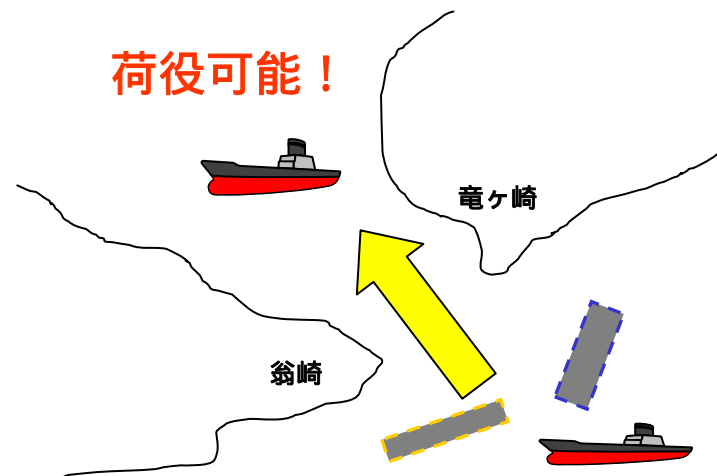
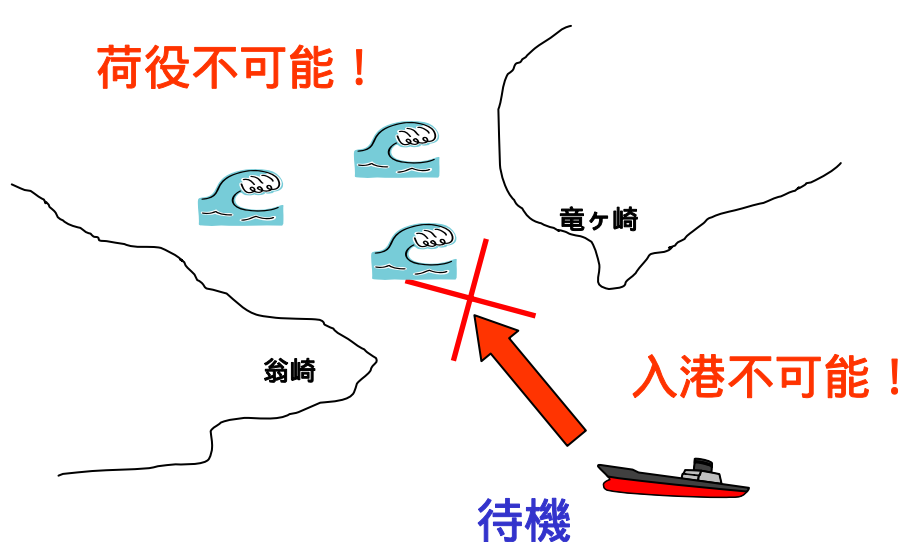
港内擾乱に伴う入出港待の回避便益（滞船削減便益）

滞船減少に伴うコスト削減効果 0.45億円/年(完成時)

Without時

荷役作業の遅延

With時



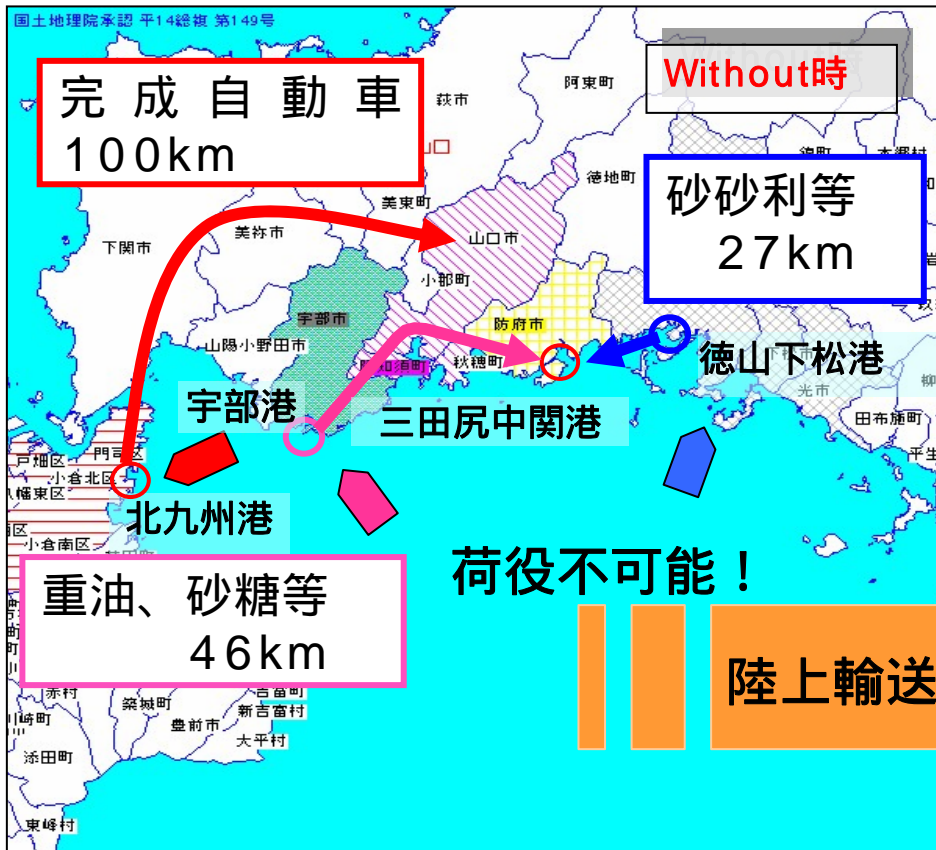
荷役作業時間短縮の便益

荷役作業短縮に伴う損失の回避
静穏度向上に伴い荷役作業の安全性向上 0.09億円/年(完成時)

港湾施設被災減少による便益

災害復旧削減効果 0.51億円/年（完成時）

災害による貨物シフトの輸送コスト縮減効果 3.08億円/年（完成時）

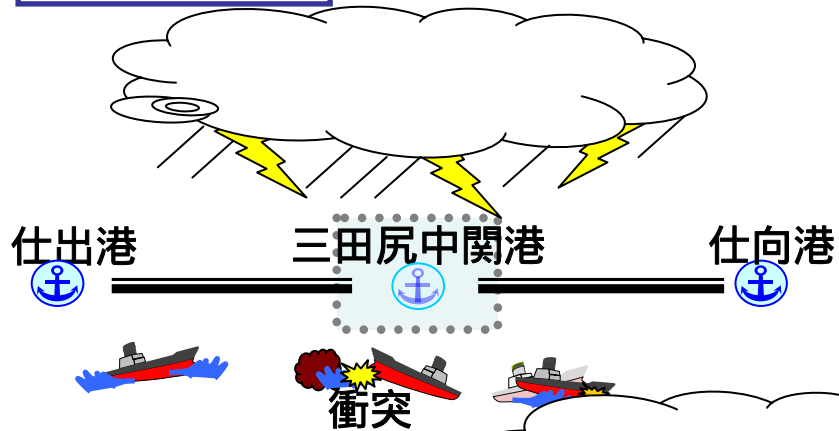


陸上輸送距離の短縮

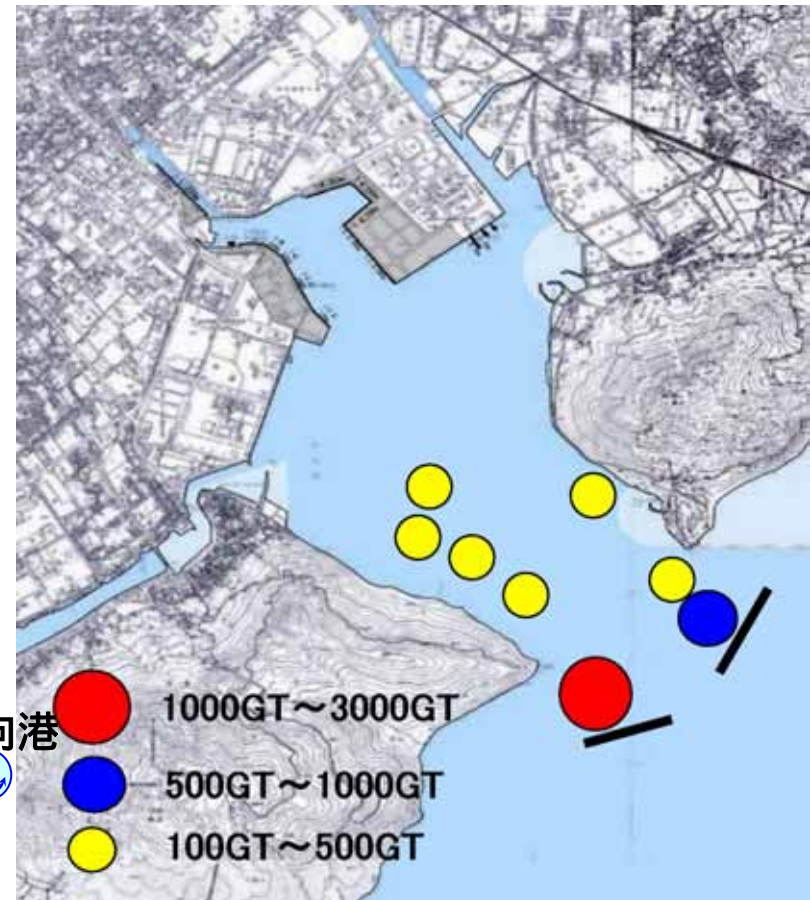
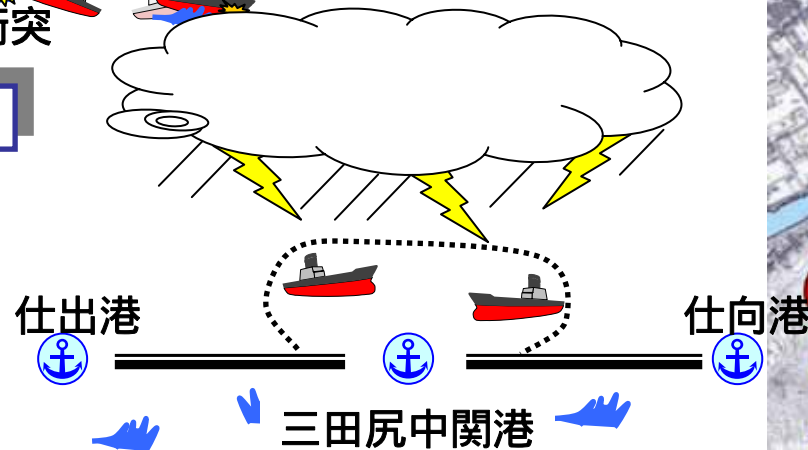
海難減少に伴う便益

海難減少に伴う損失の回避額 2.93億円/年(完成時)

Without時



With時



その他考えられる効果

津波による背後地の浸水被害を軽減できる。

港内漁港区域も静穏度が確保され、船舶の延命及び陸揚げ作業が効率化される。

地域経済への貢献
物流の効率化に伴い地元企業の競争力を強化するとともに雇用を創出できる。

6. 費用対効果

費用対効果分析結果

	事業全体の投資効率	残事業の投資効率
総費用（C 現在価値換算後）	89.5億円	39.2億円
総便益（B 現在価値換算後）	107.6億円	98.5億円
純現在価値（B - C）	18.1億円	59.3億円
費用便益比（B / C）	1.2	2.5

感度分析結果

費用便益比（B/C）による感度分析結果

分析項目	事業全体の投資効率		残事業の投資効率	
	+10%	-10%	+10%	-10%
需 要	1.3	1.1	2.8	2.3
建 設 費	1.1	1.3	2.3	2.8
建設期間	1.1	1.3	2.3	2.6

7. 今後の対応方針

事業継続

本事業は、

十分な事業の投資効果確認されたため、
本事業を継続することとしたい。

継続効果

本事業の継続により、船舶の安全性、
施設の防護を確保できる。

